

教育学部 目指そう!! 未来のスクールリーダー

Faculty of Education

教育学部では、新しい時代を切り拓き、子どもたちの成長を支え続けることのできる小学校・中学校・幼稚園・特別支援学校などの先生を養成します。したがって、各コースの教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えるとともに、子どもや地域社会、教科の指導、人間への理解に関心の高い人を受け入れるために、多様な入学選抜を行います。



教育学部は、学校の教員を目指す学部です。

1. 現代のニーズに対応
2. 進路のサポートが充実
3. 多様な入試

この3つの魅力で、「魅力的な教員」を養成します。



教育学部長
藤井良宜

教育学部は、平成28年に教育文化学部から名称を変更して、教員養成を中心とした学部にもどりまし。現在は、小学校教育を中心に据えながら、それだけではなく学生の志望に応じて中学校教育や特別支援教育などにも対応できる人材の育成を行っています。本学部の特徴は、地域や地域の教育委員会と連携しながら教育を行っている点にあります。小規模校の教育やキャリア教育などの地域の課題や特別な支援を必要とする児童・生徒への対応や教育におけるICTの活用などの現代的な課題に対して、専門の異なる教員がチームを組んで研究を行っていますし、学生たちも地域に出かけ、地域の人々や子どもたちと触れ合いながら多くのことを吸収しています。

将来学校の先生になろうと思っている皆さん、私たちと一緒に、地域で学び、地域で活躍する教員を目指しませんか。

■教育学部 各コース

学校教育課程 小中一貫教育コース

小・中の9年間を視野に入れた教育実践力をもち、児童期・青年期の発達をふまえた教材・教具、教育方法の工夫ができる高い授業力を備えた教員を養成します。

■小学校主免専攻

主に小学校教育を基盤として、中学校も視野に入れた教育実践力を育成。

P13

■中学校主免専攻

主に中学校教育を基盤として、各教科の専門的知識・技能に基づく教科指導力と教育実践力を育成。

P15

学校教育課程 教職実践基礎コース

現代の教育課題に対応するための教育の諸理論と実践力を兼ね備え、地域に根ざす学校づくりの中心となる教員を養成します。

P17

学校教育課程 発達支援教育コース

幼児期から児童・青年期までの発達上の特徴や障がいのある子どもの特性をふまえた深い子ども理解ができ、一人ひとりの子どもの教育的ニーズにあわせた指導・支援ができる教員を養成します。

■子ども理解専攻

子どもの生活を支えるカウンセリングマインドと技能、心の問題を予防し対処する能力を育成。幼稚園、認定こども園と小学校との連携、家庭との協働を実現するコミュニケーション能力を育成。

P19

■特別支援教育専攻

障がいのある子どもの実態や教育的ニーズを的確に把握して、指導・支援できる力を養い、地域の特別支援教育を支える高い専門性を有する教員を育成。

P21



■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部では、教育に対する強い使命感と教員としての基礎的資質・能力を確実に備え、発達段階を見通した広い視野から初等教育、中学校教育、特別支援教育を実践できる人材を養成します。

なお、学校教育課程のすべてのコースにおいて、大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等の学力や能力は次のとおりです。

まず、「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」の基礎的な内容を習得していることが望まれます。さらに、教科全般にわたる基礎学力が求められます。

そして、教職についての関心と意欲、知的好奇心や行動力、他者とのコミュニケーション能力を培っておくことが望まれます。

■卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

教育学部では、教育に対する強い使命感と教員としての基礎的資質・能力を確実にそなえ、発達段階を見通した広い視野から初等教育、中学校教育、特別支援教育を実践できる人材を養成します。したがって、本学部の各コース・専攻ではそれぞれ以下のような能力を、卒業要件として考えています。

小中一貫教育コース

- 小学校・中学校・小中一貫校の教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、小学校・中学校・小中一貫校の教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒の実態を把握することができる。
- 児童・生徒の実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 自他の教育実践を省察して、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 小学校・中学校・小中一貫校の教育課程や指導法に関する知識及び技能を児童・生徒の実態に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

教職実践基礎コース

- 学校教育制度の社会的役割を理解し、学校教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できるとともに、社会の一員として適切に行動できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、学校教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒の実態を把握することができる。
- 教育方法及び学習理論、学校・学級経営等に関する専門的知識・技能に基づき、生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 授業実践の基礎となる教育方法、学習方法、教育課程編成の原理や歴史的遺産を踏まえて自他の教育実践を省察し、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校教育の成り立ちや現代の学校が直面しているさまざまな教育課題を明確に理解し、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 教育課程・学習開発、指導法に関する知識及び技能を、一人一人の幼児・児童・生徒の成長や個性に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

■施設紹介



附属教育協働開発センター



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



特別支援学級

発達支援教育コース

<子ども理解専攻>

- 小学校、幼稚園・認定こども園の教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、小学校、幼稚園・認定こども園の教員に必要な教育的愛情を持って幼児・児童に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、心理・行動的問題を示す幼児・児童とのコミュニケーションを図り、幼児・児童の実態を理解することができる。
- 幼児・児童のメンタルヘルスの状態に配慮して、問題の予防・対処に必要な生徒指導、教育相談及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 自他の教育実践を省察して、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 小学校の各教科等の内容及び幼稚園・認定こども園の保育内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 幼児児童の成長やメンタルヘルスの状態に配慮しながら、小学校・幼稚園・認定こども園の教育課程や指導法に関する知識及び技能を授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

<特別支援教育専攻>

- 特別支援教育に携わる教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、特別支援教育に携わる教員に必要な教育的愛情を持って子どもに接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等の障害特性を理解し、特別な教育的支援を必要とする子どもの実態を把握することができる。
- 特別な教育的支援を必要とする子どもの実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 特別支援学校や小学校における自他の教育実践を省察することで、自己の学習課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育及び特別支援教育の基礎的諸理論に基づき、知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等の子どもが抱えているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 特別支援学校の教育課程や知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等に対する指導法に関する知識及び技能を一人ひとりの子どもの発達や障害特性に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

小中一貫教育コース〔小学校主免専攻〕



Unified Elementary and Junior High School Education Course Elementary School Major

学 校教育の入り口となる初等教育は、次世代を担う子どもたちを育む意味でたいへん重要です。本専攻は小学校教員としての基本的な資質を高め、同時に10の専修(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)からなる得意分野を併せ持つ専門性の高い小学校教員を養成します。

小中一貫教育を学べるのが魅力 9年間を見通した学びができる



学校教育課程 小中一貫教育コース
小学校主免専攻 4年

吉永萌香 Honoka Yoshinaga
鹿児島県 川内高校出身

幼い頃、一人一人の思いを大切にしながら接する父の姿を目の当たりにし、小学校教師へのあこがれを抱きました。

小学校で学んだ主体的・対話的で深い学びを、中学校へどのようにつなげていくかが大切だと感じます。

本学は、小学校及び、中学校の免許取得だけでなく、小中一貫校にも対応できる力を身に付けることができる魅力があります。また、4回の教育実習を通して、座学で得た知識を活かしながら、実践力を高めることもできます。将来は、子ども一人一人に寄り添い、「できた」「分かった」の声があふれる小学校教師を目指したいです。

小中一貫教育コース 小学校主免専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題) 学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
小学校教育専門科目	学校教育課程共通			
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	【教科及び教科の指導法に関する科目】 ● 国語	● 社会、算数、理科、生活、音楽、図工、体育、家庭、小学校英語	● 初等理科実験A、B ● 各教科の指導法	
	小学校、中学校の教員免許取得のための専門科目			
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学	● 小中一貫教育の理論と実践	
	【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)		● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)	
	【教育実践に関する科目】	● 教育実習 I	● 教育実習 II ● 教育実習 III ● 教育実習基礎研究(幼小)	
				Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 小主免では、小学校教諭一種免許とあわせて専修とした1教科の中学校教諭二種免許を取得します。中主免では、専修とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。 Pick up 教育実習 実習Iでは、実際の学校現場に参加し観察実習を行います。実習IIは実際に子供たちの前に立ち授業を行います。実習IIIでは異学校種の実習。実習IVではそれぞれ県内の小・中学校に行き、応用的な教育実習を行います。 ● 教育実習IV ● 教職実践演習(幼小中高)

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。そのために、小学校主専攻では小学校教諭一種、中学校教諭二種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の10の教科の中から1つ)の免許を取得します。したがって本コース・専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力と児童・生徒への適確な指導に資する表現力と学校現場で生きる協調性をもち、それらをしっかりと身に付けるべく一層の努力を怠らない人



小中一貫教育コース 小学校主専攻(国語)
准教授 中野登志美 Toshimi Nakano

小中一貫教育を通して 専門性の高い小学校教員に。

小学校主専攻では、みなさんが教壇に立って指導することができるように、全教科に対応した学習と指導法を学ぶだけでなく、小主専攻であっても10教科の中から1つを専修し、その教科の専門的な知識を学びます。宮崎大学では小学校教員に求められる資質能力を養うための学修が整備されています。小学校と中学校の系統的な学びができる点は大きな魅力の一つです。私が担当する国語の授業では、理論を土台とした指導法や授業を構想して模擬授業を行い、実践力を身に付けます。さらに教材を分析して、その教材に適した指導法を導き出します。物語や小説を学術的な観点から分析するのは面白いですよ。一緒に楽しくて実りのある授業を作りましょう。



ココに
注目!

4つの実習でたくましく

小中一貫教育コースには、小学校・中学校の教員になるためだけではなく、小中一貫校の教員になることを見据えた授業科目が数多く用意されています。その1つが4種類の教育実習で、学修の大きな柱となっています。教育学部には、附属施設として附属学校園(附属幼稚園・附属小学校・附属中学校)があります。その中の、附属小学校と附属中学校で実習Ⅰ～Ⅲが行われます。

実習Ⅰでは授業はもちろんのこと、学校全体について観察します。実習Ⅱでは授業方法や学校生活全般に関することを学びながら、実際に子供たちの前に立って授業をします。その後、異学校種の実習として実習Ⅲが行われます。小学校主専攻の学

生は附属中学校で、中学校主専攻の学生は附属小学校で実習を行い、小中一貫教育を見通した考え方を身につけます。

4年生になると、県内の公立小・中学校で、より実践的な応用力を育む実習Ⅳが行われます。教育実習をとおして子供たちと触れあい、現職の先生方の姿に多くのことを学び、教員を目指す自分を見つめていきます。小学校・中学校教員への夢に向かって成長する学生たちを充実の4つの実習が支えています。



卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校教諭、
高等学校教諭、特別支援学校教諭、
幼稚園教諭、保育士、県職員、
市町村職員、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}
- 中学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 高等学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 時間制等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

小中一貫教育コース〔中学校主免専攻〕

Unified Elementary and Junior High School Education Course Junior High School Major



見 童期から青年期にかけての発達過程はたいへん多感な時期にあたり、その人の将来に大きな影響を与えます。本専攻はこうした発達過程を幅広い視野を持って見通す能力と、9専修(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語)から1教科を専修として高い専門性を併せ持った教員を養成します。

自分が好きなスポーツで子どもたちと地域を盛り上げたい



学校教育課程 小中一貫教育コース
中学校主免専攻 4年

木下香乃 Kano Kishita
宮崎県 宮崎北高校出身

宮崎とスポーツが大好きです。自分が好きなことで子どもたちと一緒に大好きな故郷を盛り上げられたらと本学を志望しました。将来、宮崎で就職することを見据えると、地元の教育や状況も学べる本学がベストだと思いました。

私は中学校主免専攻ですが、小学校主免専攻の学生と一緒に学べて、小学校、中学校2種類の免許が取得できるのが最大の魅力。少人数制のため、同級生ともすぐに仲を深められるのも良い点です。

スポーツが大好きだからこそ、スポーツキャンプなどが充実している宮崎の環境の良さを実感しています。プロ野球キャンプにアルバイトなどでも関われるのは宮崎ならではの経験です。将来は、中学校で保健体育を教える、子どもたちに運動を好きになってもらいたいです。



小中一貫教育コース 中学校主免専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学校教育課程共通			Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 中学校主免専攻では、専修とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	小中一貫教育コース(国語科) 専門科目			Pick up 教育実習 実習Iでは、実際の学校現場に参加し観察実習を行います。実習IIは実際に子供たちの前に立ち授業を行います。実習IIIでは異学校種の実習を行います。実習IVでは県内の公立中学校で応用的な教育実習を行います。
	【教科に関する専門的事項】 ● 国語学Ⅰ～Ⅱ、国文学講義Ⅰ～Ⅱ、国文学演習Ⅰ～Ⅱ、国文学史Ⅰ、書写技法	● 国語学演習Ⅰ、国文学演習Ⅲ、国文学史Ⅱ～Ⅲ、漢文学Ⅰ、国語科教育法基礎、国語科教育実践研究	【各教科の指導法】 ● 漢文学演習Ⅰ、書式技法、中等国語科教育Ⅰ～Ⅲ、小中一貫授業研究(国語)	
小学校教育専門科目	小学校、中学校の教員免許取得のための専門科目			
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学	● 小中一貫教育の理論と実践	
	【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)		● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)	
	【教育実践に関する科目】	● 教育実習Ⅰ	● 教育実習Ⅱ ● 教育実習Ⅲ ● 教育実習基礎研究(中高)	● 教育実習Ⅳ ● 教職実践演習(幼小中高)

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語の9の教科の中から1つ)、小学校教諭二種の免許を取得します。したがって本コース・専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力と児童・生徒への適確な指導に資する表現力と学校現場で生きる協調性をもち、それらをしっかりと身に付けるべく一層の努力を怠らない人

教科の専門性を高めながら 教師力を磨く。

本専攻は、教科の専門知識と実践的指導力を有し、小学校教育にも対応できる教員の養成を目的としています。学生は、自ら選択した1教科を専攻としてその専門性を高めながら、教育学の諸分野について学ぶ教職専門科目や、異学校種実習を含む計7週間の教育実習などを通して、教師力を磨いていきます。

音楽専攻の場合、音楽科教育、ピアノ、声楽、指揮・作曲の専門教員によるきめ細やかな指導と、専攻や学年の枠を越えて協働する学生主体の演奏会を経験しながら、コミュニケーション力を備えた即戦力となる人材へと成長し、教育現場に巣立っていきます。

皆さんが目指す教員への道を、同じ志を持つ仲間と歩みましょう。そのための好環境が、ここには用意されています。



小中一貫教育コース 中学校主免専攻(音楽)
教授 藤本いく代 Ikuyo Fujimoto



卒業とともに 2種類の免許状取得

小中一貫コースでは、小学校・中学校の教員になるためだけでなく、小中一貫校の教員にもなれるように、授業科目が数多く用意されています。教育学部には、高校までに習った国語や数学などの「教科専門」の授業科目の他にも、教育学や教育心理学、そして各教科の指導法について学ぶ「教職専門」という授業科目もあります。その中で、「小中一貫教育の理論と実践」や初等・中等別に各教科の「教育法」、さらには今後小学校教員に必要な外国語活動の指導力を育成する特色ある科目が設けられています。

中学校主免専攻では、専攻とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。小学校主免専攻では、小学校教諭一種免許とあわせて専攻とした1教科の中学校

教諭二種免許を取得します。

こうしたカリキュラムによって、教科に関する強みを持った教員、さらに9年間の見通しの中で児童・生徒の成長を支えられる教員が養成されます。卒業要件単位内で2種類の免許が取得できるので、今後、需要が期待される小中一貫校の教員としても対応でき、進路の幅が広がります。



卒業後の主な進路

中学校教諭、小学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、県職員、市町村職員、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 中学校教諭一種普通免許状(専修教科)^{※1}
- 小学校教諭二種普通免許状^{※1}
- 高等学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}
- 中学校教諭二種普通免許状(専修以外の教科)^{※2}
- 小学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}

※1 卒業時に取得できる免許。 ※2 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。
 ※2¹ 履修モデルにより卒業時に取得できる免許。
 ※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。
 ※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

教職実践基礎コース

Teaching Profession Practice Basic Course



グローバル化や少子高齢化、情報化などを背景に、現代社会はめまぐるしい変化の中にあります。そのような社会を生き抜く力を次世代の子どもたちに身につけさせるため、学校教員に求められる資質・能力も多様化・高度化しています。本コースでは、小学校教員としての基本的な資質・能力とともに、今後の社会で必要とされる問題解決能力や批判的思考力、他者と協働する力などを兼ね備えた教育実践力の高い教員を養成します。

大学院まで見据えた 6年間前提のカリキュラムが良い



学校教育課程
教職実践基礎コース 3年

福吉 萌子 Moeko Fukuyoshi
宮城県 宮崎南高校出身

もともと教職大学院への進学まで見据えていました。だからこそ院まで入れた6年間を考えた本コースが良いなと思いました。少人数制のうえ、先生の数が多いため、指導が手厚いです。また、先生方の専門が、教育社会学や教育方法学、教育行政学などさまざま。教育について、多方面の視座で話が聞けます。同じ志を持つ仲間を持てるのはもちろん、仲間同士でいじめ問題など教育課題について、ディベートをする機会も多く、自分以外の意見を聞けるのも貴重な時間です。休日は子どもに関わるボランティアに参加しています。座学で学んだことを活かしますし、子どもと触れ合うことで気づくことも多いです。高い専門性を身につけて、信頼される教師になりたいです。



教職実践基礎コース 教職実践基礎専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			Pick up 高い専門性を持った教員の養成 学校現場で起こる様々な問題に対して、教育学の理論をベースに、主体的・積極的に取り組んでいける高い専門性を持った教員の養成を行っています。
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学校教育課程共通			
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	教職実践基礎コース 専門科目			
	● 現代の教育課題と学校	● 教育社会学 ● 情報メディア活用と情報教育 ● 学校と教員の歴史 ● 教育方法学	● 学校制度論	● 学校・学級経営論 ● 教育課程・学習開発論 ● 道徳授業論
小学校教育専門科目	【教科及び教科の指導法に関する科目】 ● 国語	● 社会、算数、理科、生活、音楽、図工、体育、家庭、小学校英語	● 初等理科実験A、B ● 各教科の指導法	
	小学校の教員免許取得のための専門科目			
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)	● 小中一貫教育の理論と実践 ● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)	Pick up 先進的な6年一貫教育の実施 大学4年間、教職大学院(2年)への進学を見据えたカリキュラムとなっています。
	【教育実践に関する科目】	● 教育実習 I	● 教育実習 II ● 教育実習 III ● 教育実習基礎研究(幼小)	● 教育実習 IV ● 教職実践演習(幼小中高) ● 卒業論文

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

教職実践基礎コースは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に対応できる教員の養成を目指しています。そのため、教育の基礎理論、教育課程及び指導法について、教職大学院までの6年間を見通した学修を進めます。本コースでは卒業要件として小学校教諭の一種免許を取得します。また、努力次第で他の学校種(幼稚園もしくは中学校)の免許も取得できます。したがって本コースでは、教育に対する高い関心があり、教職を目指す次のような人を求めています。



幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能を有し、これらを教育実践に活用しようとする意欲を持っている人

幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・小学校教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす意欲のある人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲を持っている人

教育現場に立ち現れる 課題に挑む教員になる。

不登校・いじめ・貧困問題、さらには感染症対策と教育現場には、さまざまな課題が立ち現れています。本コースは、これらの課題に対応できる実践力を身に付けます。具体的には、教育哲学や教育史を学び長期的視野を身に付ける一方で、学級づくりや情報メディア活用を学ぶことで、即対応可能な知識やスキルを身につけます。私の専門の教育制度に関する授業では、教育現場で求められる規範や合理的思考を身につけます。また、宮崎県教育委員会や各市町村教育委員会と連携した、教育現場でのフィールドワークも充実しています。本コースは、教職大学院への進学を前提とした、6年間を見通したカリキュラム編成です。教育現場の課題に果敢に挑みたい方は、本コースで学んでみてはいかがでしょうか。



教育実践基礎コース
准教授 湯田 拓史 Hirofumi Yuda



ココに
注目!

教職大学院とのつよい連携

本コースでは、高い教育実践力と専門的知識をもった教員を養成するために、大学院での2年間を合わせた6年間を見通したカリキュラムが作られています。学部での4年間では、教員免許状取得に関わる教科教育に関する科目、教育学や心理学、教育実習などの教職科目を履修します。これに加え、本コースでは、教育の歴史や学校制度など、幅広い視

点から学校教育を学ぶ授業が用意されています。また、教育方法に関しても、情報メディアの活用やクラスの間関係づくり、新しくなった「特別の教科 道徳」など、実践的に、より詳しく学べるようになっていきます。これらの内容のほとんどは、教職大学院で授業を担当する教員によって行われ、教職大学院での専門性の高い学習につながっています。教育現場でのフィールドワークや様々なアクティブ・ラーニングを通じた学習も行い、教員としての資質を多面的に高めていきます。

卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校教諭、
大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}
- 中学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

発達支援教育コース〔子ども理解専攻〕

Developmental Support Education Course Understanding Children Major



心 理学の理論と知識を活用して、子どもの学校生活を支える教員を育成します。
科学的・実証的な心理学のアイデアを使って、子どものメンタルヘルス、学業の向上を図ります。

学校教育課程 発達支援教育コース
子ども理解専攻 3年

椎葉陽菜 Hinano Shiiba
宮崎県 延岡高校出身



子どもの心理を理解して声掛け 実践しながら学びを深められる



子ども理解専攻 3年

大井 昴 Subaru Ooi
福岡県 鞍手高校出身

子どもの不安や心配ごとに寄り添える先生になりたいと思ったという大井さん。椎葉さんも子どもの心理を学ぶことで、理想とする先生になれると思ったからこそ本専攻を志望したといいます。ここでは講師陣が優しく、何気ないときにも声を掛けてくれ、意見を言う際にも否定せずに受け止めてくれるのが良いのだそう。また、子どもの成長を心理学の面からみる授業や、正しい声掛けの仕方などを学べるのも魅力の一つ。伝え方などはロールプレイなどで経験しながら学習し、学んだことを実習でも実践。体験して正しさを実感することができるので、学びが深まるともいいます。本学は、地元就職するのに役に立つイベントやプログラムも多く、サポート体制も万全です。



発達支援教育コース 子ども理解専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 子ども理解専攻では、小学校教諭一種免許及び幼稚園教諭一種免許を取得します。
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学校教育課程共通			
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	発達支援教育コース 子ども理解専攻 専門科目			
	● 発達心理学	● 学校教育の臨床心理学	● 教育心理学研究法Ⅰ～Ⅱ	
	幼稚園の教員免許取得のための専門科目			
	● 幼児と言葉 ● 幼児と表現 ● 保育内容総論	● 幼児と健康 ● 幼児と環境 ● 幼児の理解と教育相談 ● 幼稚園観察実習	● 幼児と人間関係 ● 保育内容の指導法	● 幼稚園教育実習
	【教科及び教科の指導法に関する科目】			
	● 国語	● 社会、算数、理科、生活、音楽、図工、体育、家庭、小学校英語	● 初等理科実験A、B ● 各教科の指導法	
	小学校の教員免許取得のための専門科目			
小学校教育専門科目	【教育の基礎的理解に関する科目】			Pick up 心理学に特化し、子どもの心理を理解 心理学の知見を学び、それを教育場面で活用することのできる教員を育成することを目標としています。
	● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学	● 小中一貫教育の理論と実践	
	【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】			
	● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)	● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)		
	【教育実践に関する科目】			
	● 教育実習Ⅰ ● 幼稚園観察実習	● 教育実習Ⅱ ● 教育実習基礎研究(幼小)	● 幼稚園教育実習もしくは教育実習Ⅳ ● 教職実践演習(幼小中高) ● 卒業論文	

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。本専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指すような人を求めています。



幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性、さらに学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力を身に付けるための努力を怠らない人



発達支援教育コース子ども理解専攻
准教授 尾之上高哉 Takaya Onoue

科学的に有効性が検証されている 教育方法を学び、子ども達を育てる。

— 専攻の特色 —

本専攻の教員は、教育現場や家庭で生じている諸問題を改善することを目標に、実証的な研究に取り組んでいます。研究のテーマは、いじめ、不登校、社会的スキル、メンタルヘルス、モチベーション、学習(練習)法、教師や親の教育スキル向上、など多岐に渡ります。私たち教員は、皆さんが、科学的に有効性が検証されている教育方法を理解し、実践の場で活かせるよう支援します。

— 私の研究内容 —

「ほめる」「励ます」「批評する」「動機づける」「学習(練習)環境をつくる」…どれも、子どもを育てる立場になれば、日常的な営みです。あなたはどのような方法で子どもと向き合いますか？研究の結果は、その方法が少し変わるだけで、その後の子どもの“心の持ち方”、“意欲や行動”、“学習(練習)の効果”、が変わる可能性を示しています。それらの知見を参照しながら、子どものより良い成長を促す教育方法の研究を行っています。



ココに注目!

国内でも希少な教育現場における心理学研究が盛ん

本専攻では、心理学を学び、それを応用した教育・研究が行われています。テーマは幼児・児童・生徒のメンタルヘルスの向上です。本専攻の教員は、このテーマのもとで、幼稚園・小学校・中学校の先生方と豊富な共同研究の実績をもっています。たとえば、子どもが主体的に学ぶ授業を作る、子どものストレスを改善

予防するストレスマネジメント教育、幼児・児童・生徒の対人関係を育てるソーシャルスキル教育、子どもの不安や抑うつに対する予防プログラムなどがすでに幼稚園・小学校・中学校などの教育現場で実践されています。こうした実践活動には学生も積極的に参加し、授業で学んだ子ども理解に関する専門的内容を実践の場で生かすことができるようになってきました。学生の中から現職教員と共同研究を通して身近に交流できる機会が用意されていること、これは教員をめざす学生にとって大きな魅力になるはずです。

卒業後の主な進路

小学校教諭、幼稚園教諭、
認定こども園職員、県職員、
市町村職員、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※1}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

発達支援教育コース〔特別支援教育専攻〕

Developmental Support Education Course Special Needs Education Major



知 的障がいや肢体不自由、病弱、発達障がいのある児童・生徒が抱える課題や困難に対する指導・支援に必要な知識や技能などの専門性を身につける学修を通して、障がいのある児童・生徒の心身の発達を指導・支援によって促し、将来の自立や社会参加を実現できる特別支援学校の教員を養成します。

学生間の密なつながりを生かし ボランティアなどを通して実践力を磨く



特別支援教育専攻 4年

松田美咲 Misaki Matsuda
宮城県 都城西高校出身



学校教育課程 発達支援教育コース
特別支援教育専攻 4年

吉村まどか Madoka Yoshimura
宮城県 宮崎西高校出身



特別支援教育に関心があり、自身が深めたい学びがある本学を志望した吉村さん。一方、松田さんは宮崎県の教員になりたいからこそ、教育現場の現状などが分かり、特別支援学校の先生を目指せるこの専攻を選んだといいます。この専攻は、ボランティアの募集が多く、その経験を通して学びを実践につなげることができるそうです。また、少人数だからこそ、縦横のつながりが強く、上下の人間関係の築き方や横のチームワークを深められることもここならではの。先生方の講義は、事例や実体験を交えて具体的に教えてくれるので分かりやすいです。この専攻の魅力は、知識を身に付けて基礎力を固めたうえで、実践力を磨く学びの環境が整っていることです。

発達支援教育コース 特別支援教育専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
発達支援教育コース 特別支援教育専攻 専門科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学校教育課程共通			
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	小学校教育専門科目			
	小学校の教員免許取得のための専門科目			
	特別支援学校の教員免許取得のための専門科目			
	【発達支援教育コース科目】 ● 子どもの発達と教育支援			
	【特別支援教育に関する科目】 ● 障害児教育学総論 ● 知的障害者の心理・生理・病理 ● 障害児教育課程	● 肢体不自由者の心理・生理・病理 ● 病弱者の心理・生理・病理 ● 障害児アセスメント ● 肢体不自由児教育 ● 発達障害教育総論 ● 視覚障害教育総論 ● 聴覚障害教育総論 ● 特別支援基礎実践 I	● 知的障害児教育 ● 病弱児教育 ● 特別支援学級経営 ● 障害児指導法(前期) ● 障害児指導法(後期) ● 重複障害児教育 ● 特別支援基礎実践 II	● 特別支援学校教育実習
				<p>Pick up</p> <p>卒業とともに2種類の免許取得 特別支援教育専攻では、小学校教諭一種免許及び特別支援学校教諭一種免許を取得します。</p>
				<p>Pick up</p> <p>「アクティブ・ラーニング」で学びの本質に迫る 特別支援教育の知識をしっかりと身につけることで基礎力を固め、その基礎力を土台にしたアクティブ・ラーニングの積み重ねによって実践力を磨く「学びの環境」があります。</p>

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

特別支援教育専攻では、障がいのある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障がいに基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度および習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。したがって、本専攻では特別支援教育への関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



特別支援教育に対する意欲を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力、愛情豊かに他者を思いやることのできる協調性を持つ人

学習を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心を有している人



発達支援教育コース特別支援教育専攻
准教授 半田 健 Ken Handa

特別支援学校の教師を 本気で目指す

特別支援学校には、障がいのある子どもの学びや生活の充実に向けて、障がいの状態に応じて指導を行い、障がいによる困難に寄り添える教師が求められています。

本専攻では、そのような教師に必要な「専門性」と「人間性」を身に付けることができます。カリキュラムは、特別支援教育の歴史や概念から、障がいのある子どもの心理・生理・病理をはじめ、指導法、教育課程、学級・学校経営まで詳しく取り上げます。また、学修の過程は実践的で、ディスカッションや演習、実習を効果的に取り入れています。加えて、本学には、宮崎県で唯一、大学院に特別支援教育のコースがあり、学部での学びを一層深めることができます。

特別支援学校の教師を本気で目指す皆さんの入学をお待ちしています。



ココに
注目!

「アクティブ・ラーニング」で 学びの本質に迫る

特別支援教育専攻では、特別支援教育の知識をしっかりと身につけることで基礎力を固め、その基礎力を土台にしたアクティブ・ラーニングの積み重ねによって実践力を磨く「学びの環境」があります。例えば、「障がいのある当事者やその支援者」と共に、宮崎の特別支援教育に関する現状と課題を考え、課題解決に向けて取り組む授業を展開しています。また、発達障がいのある子どもとその保護者を対象とする教育プログラム「チャレンジ教室」には、学生もプログラムの計画や実践に参加しています。初めは子どもとの関わりに戸惑っていた学生も、経験を重ねるごとに自然な関わりを身につけていきます。

先輩から後輩へ 「みんなで学び合う」

特別支援教育専攻の学生たちに聞くと必ず返ってくるのが「先輩、後輩の関係がいい」、「先生方との距離が近く、話しやすい」という答え。先生方は専攻の学生一人ひとりに対してきめ細かく指導を行っています。また、授業や研究活動、課外活動においても上級生と下級生が協働する機会が多く、先輩学生が後輩に対し積極的にアドバイスし、相談に乗っています。互いに意見を出し合い、助け合い、学び合う伝統があります。県内外で多くの先輩も活躍しているので、卒業して社会に出ても宮大OB、OGとのつながりを持つことができます。

卒業後の主な進路

特別支援学校教諭、
小学校教諭、
大学院進学

取得可能な免許、資格

- 特別支援学校教諭一種普通免許状^{※1※2}
- 小学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※3}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※3}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※3}
- 学校図書館司書教諭^{※4}
- 学芸員^{※5}

※1 取得可能な領域は知的障害、肢体不自由、病弱の3領域です。

※2 卒業時に取得できる免許。

※3 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※4 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※5 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。